業務名（業務コード）			保税管理資料再出力依頼情報登録・変更（ＤＬＨＯ１）																					端末仕様（参考）				
項番	欄	項目名	ID	属性	桁	繰1	繰2	条件												コード	入力条件／形式	EL	R	履歴	PM	既定値
								登録				変更				呼出し／削除										
1		入力共通項目		an	398			M				M				M										
2		処理区分コード	KND	an	1			M				M				M					９：登録 ５：変更 ３：呼出し １：削除				○	
3		受理番号	JNO	an	5			X				M				M										
4		処理ステータス	STS	an	1			－				－				－										
5	5	削除フラグ	DFL	an	1			X				C				－					通番を指定して削除を行う場合は、「Ｄ」を入力					
6	＊	通番	SNO	an	3			X				M				－										
7	＊	管理資料番号	SCD	an	1			M				M				－					対象の管理資料番号を入力 １：航空輸入貨物搬出入データ（日報） ２：航空輸入貨物取扱等一覧データ（日報） ３：航空輸出貨物取扱等一覧データ（日報） ４：航空輸出貨物搬出入データ（日報） ５：輸入貨物搬出入データ（週報） ６：貨物取扱等一覧データ（週報） ７：輸入貨物コンテナ関連データ（週報） ８：輸出貨物搬出入データ（週報） ９：輸出貨物コンテナ関連データ（週報）				○	
8	＊	対象年月日（開始）	KDT	n	8			M				M				－					再出力対象管理資料のデータ収集対象日を入力 （１）システム年月日－５年１ヶ月≦対象年月日（開始）であること （２）取出可能期間内であること					
9	＊	対象年月日（終了）	SDT	n	8			M				M				－					再出力対象管理資料のデータ収集対象日を入力 （１）対象年月日（開始）≦対象年月日（終了）＜システム年月日であること （２）取出可能期間内であること （３）対象期間が１日の場合は、対象年月日（開始）と同日を入力 （４）１業務で指定可能な対象日数の範囲は、管理資料単位に以下のとおりとする。 （Ａ）日報の場合 「対象年月日（終了）」－「対象年月日（開始）」の日数の差＋１≦３１ （Ｂ）週報の場合 （「対象年月日（終了）」－「対象年月日（開始）」の日数の差）÷７＋１≦３１					